

## OIML MAA :

型式承認のための世界へのパスポート

### MAA 型式評価報告書の申請窓口：

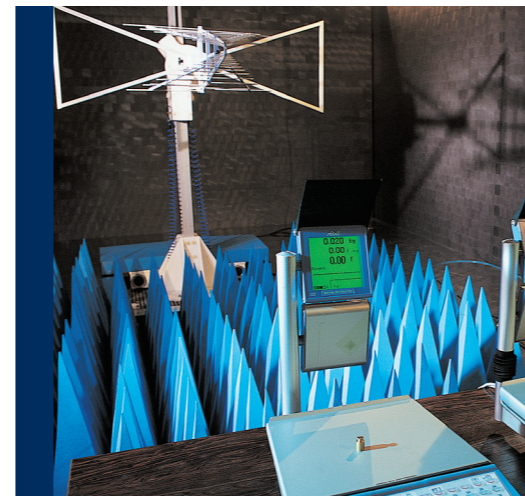
全ての発行型参加機関 - 計量器カテゴリごとの参加機関リストは、関連する相互信頼宣言書 (DoMC) に示されています。この宣言書は、OIML ホームページ内のリンク “MAA” から閲覧できます。

### MAA 型式評価報告書の利用：

関連する相互信頼宣言書 (DoMC) に記載された全ての参加機関で相互利用が可能。



## 計量器の型式評価国際相互受入れ 取決めの枠組み (MAA)



たった一度の試験で、  
計量器の試験結果が  
MAA 参加機関の間で相互利用されます。

[www.oiml.org/maa](http://www.oiml.org/maa)

定期的に更新されるすべての情報にアクセス可能です。  
これらの情報が、MAA を成功させるために役立っています。

貴方の次の行動は：

国内の OIML 担当者との連絡を取る、

又は：

国内の CIML 委員 (OIML 加盟国の場合)

もしくは準加盟国連絡担当者 (OIML 準加盟国の場合) と

連絡を取ることです。

[www.oiml.org](http://www.oiml.org)

### OIML に関する国内問い合わせ先

〒305-8563 茨城県つくば市梅園1-1-1

(独)産業技術総合研究所 計量標準総合センター (NMIJ) 国際計量室

電話番号: 029-861-4149 <http://www.intermet.jp/>

### OIML 事務局

BIML · 11, rue Turgot · F-75009 Paris · France

Tel +33 1 48 78 12 82

Fax +33 1 42 82 17 27

### 免責事項 (Disclaimer)

このパンフレットの原版 (英語版及びフランス語版) の著作権は BIML (国際法定計量事務局) にある。  
日本語版の作成にあたっては、BIML の許可を得た上で計量標準総合センター 国際計量室が翻訳を担当した。

このパスポートが保証するものは、

試験能力の同等性

信頼関係

協力関係

## OIMLとは？

OIML (国際法定計量機関) は、1955年に調印された政府間条約によって創設されました。法定計量とは、測定単位、測定、計量器規制について、政府機関により法律に基づいて実施される管理体系を意味します。OIMLは、世界貿易機関の貿易の技術的障害に関する協定から見れば、“国際規格制定機関”の一つです。OIMLの役割は、その加盟国の間で互いに情報を提供して相互信頼関係を発展させ、加盟国が国内法で管理する計量器に関する“モデル規則”を提供することです。このような規則をOIMLでは、国際勧告と呼んでいます。

このような方針に基づいてOIMLは、加盟国間で法定計量における計量器型式評価の相互承認を促進するために現在、次のような二つの国際的な制度を展開しています：

### ■ OIML 基本証明書制度

[任意に] 参加機関は国際的に整合化された試験方法で、OIML 勧告の要件に対する計量器型式の適合性評価と認証を行います。

### ■ 型式評価国際相互受入れ取決めの枠組み [MAA]

これは、新たな制度の一つであり、計量器の型式評価を行う試験機関の評価を伴います。この取決めの中で、参加機関はお互いの試験結果を受け入れ、利用する意志があることを宣言します。

### メンバーシップ

加盟国とは、OIML 条約に署名して批准した国々です。加盟国は、総会決議を実施し、OIML の活動に積極的に参加することを約束します。

準加盟国とは、OIML 条約には署名していないものの OIML の活動に関心を寄せ、これに参加する意志のある国々及び経済地域です。

また、OIML は次の機関との連絡窓口を設けています：

- 計量、認定、標準化の分野の国際機関
- 技術分野の国際機関
- 経済問題 [貿易、経済発展] のための国際機関
- 製造事業者、計量器使用者、消費者に関わる国際機関及び地域機関

**OIML :**  
加盟国にはツールを  
計量器の製造事業者にはサービスを提供する  
法定計量におけるキープレイヤー

# OIMLの 二つの補完的な 型式証明書制度

試験能力の同等性  
信頼関係  
協力関係



## OIML 基本証明書制度

計量器のOIML基本証明書制度は1991年に創設されました。この制度は現在約50のカテゴリの計量器を対象としており、計量器の型式評価を担当する国家機関、地域機関の業務の円滑化と整合化、さらに試験機関の試験実施方法の整合化を目的としています。

OIML基本証明書制度は任意制度であり、この制度の下でOIMLの発行機関から型式への適合証明書が発行されます。この発行機関は、加盟各国のOIML代表により指名されます。

この制度は、製造事業者が製造する計量器の型式承認を申請する際、対象国における型式要求事項への製品の適合性を証明する手続きを支援するために設けられました。

もちろん、この制度の全体的コンセプトは、国家または地域の計量規則が関連するOIML勧告の要件に整合しているという原則に基づいています。

## OIML 型式評価国際相互受入れ 取決めの枠組み (MAA)

OIML MAAは2005年に発足し、現在計量器のいくつかのカテゴリを扱っています。今後MAAは、その他の既にOIML基本証明書制度の対象となっているカテゴリにも徐々に拡大されてゆくでしょう。これは、公的評価を通じて計量器の型式試験に携わる試験機関の信頼度を高めるために作られた新たな手段の一つです。

MAAもまた任意制度ですが、その参加機関は評価を受けた試験機関が提供する試験結果を受け入れて利用する意志を積極的に宣言します。

試験機関を持たないOIML加盟国や、国内計量規則が対応するOIML勧告の要件に完全に整合していない加盟国において型式承認を申請しようとする製造事業者にとって、この枠組みは大きなメリットとなっています。



製品が一度試験を受ければ...  
製造事業者にとって重要な目標の一つは、製造した計量器の型式(タイプ又はモデル)に対する適合証明書を世界各国で申請する際に必要とされる試験・評価コストの総額削減です。

...試験結果は全てのMAA参加機関の間で利用されます  
OIML MAAは、この製造事業者の目標達成を後押しします。なぜならば、MAAでは製造事業者がある発行型参加機関のもとで試験を受ければ、他の参加機関がその試験結果を利用して各国の型式証明書を発行できるからです。

## OIML MAA: OIML 勧告に基づく試験能力の同等性と 試験・評価結果の信頼性を保証

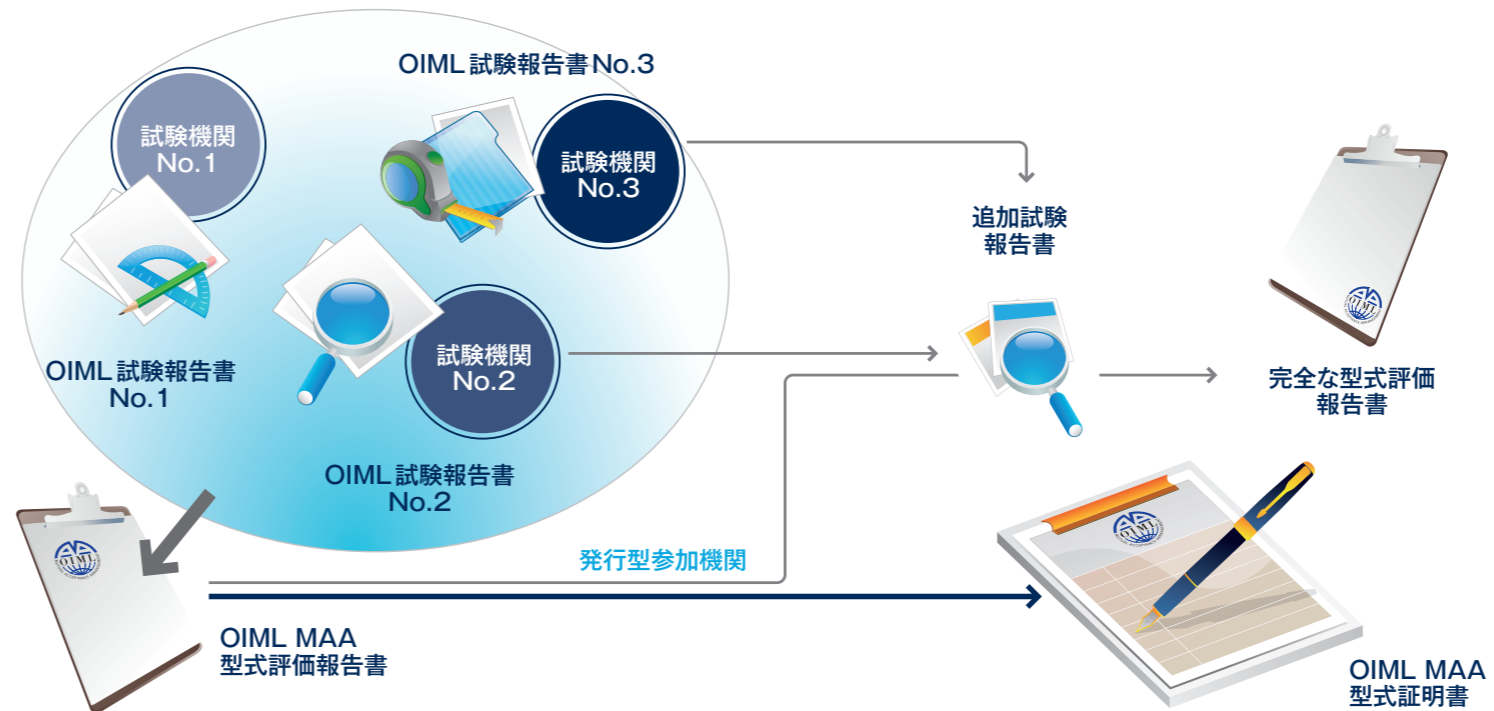
MAAにおける「試験機関の能力」とは、いったい何を保証するのでしょうか?

- 型式承認試験に携わる試験機関の試験能力の初期審査が実施され、その後も試験能力の定期的な監視が行われます。
- OIML MAA適合証明書を発行する発行型参加機関は、型式適合性試験を実施する試験機関を指名します。これらの試験機関は初期審査と継続審査を経てOIMLによって正式に登録され、その後も試験機関のリストが維持されます。
- ISO/IEC 17025「試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項」が、試験機関の試験能力を評価するための重要な手段として用いられています。

この能力はどのような手続きで証明されるのでしょうか?

- 国家認定機関、又はILAC(国際試験所認定協力機構)相互承認取決めへの署名機関による認定、又は
- OIMLの責任に基づいて実施される外部評価(ピア・アセスメント)

認定を受けた試験機関については、OIMLがILACと協力しながら、その認定内容が対象となる試験範囲を含んでいること、そして評価チームに適切な専門家と審査員が含まれていることを確認します。



## OIML MAA: 参加機関相互の信頼及び協力関係

各試験機関の能力の同等性を保証することで、発行型参加機関が提供する型式評価報告書に対する信頼性が生まれます。なぜならその報告書は認定された試験機関が発行する試験報告書に基づいているからです。試験機関に対する評価報告書の審査を行うOIML委員会(CPR)は、技術問題と試験手順についての情報を交換し、参加機関相互の信頼関係を育む新たな場ともなっています。

### ■ OIML MAA: 製造事業者にとっての利点

- 試験機関の能力の同等性が試験結果への信頼につながります。参加機関相互の信頼・協力関係が、公式宣言で保証されます。協力関係が、型式評価報告書と試験結果の利用により実現します。
  - 一回の型式承認試験で十分
  - 国家による追加試験項目の導入も可能
  - 型式承認申請手続きの簡素化

このような信頼関係は、他の参加機関が発行した型式評価報告書と試験結果の利用を宣言する参加機関相互の協力関係につながります。この信頼と協力関係を証明する文書が、計量器のカテゴリごとに各MAA参加機関が署名した“相互信頼宣言書(DoMC)”です。このようにしてOIMLは国内に試験施設を持たない加盟国を支援し、これらの国々が発行型参加機関が発行するOIML MAA型式評価報告書を信頼できるような仕組みをつくっています。製造事業者は、この制度により信頼性を保証する強固な基盤を与えられ、これに基づいて新たな市場に参入して事業を展開する大きなチャンスを得ます。現実の世界では、多くの国における技術的な計量規則は、関連するOIML勧告に完全に整合してはいないので、OIML MAAでは各国が独自の試験項目を追加することを認めており、これがMAAのもう一つのメリットとなっています。このような追加試験項目[及びそれに伴う試験手順]は、対応するOIML委員会により、OIML勧告に規定された試験項目と同じ方法で評価されます。これらの追加試験項目は公表されているので、もしこのような試験を実施できる試験機関があれば、製造事業者はその機関に試験を依頼することも可能です。

## 参加機関には3つのタイプがあります。

### 発行型参加機関

OIML証明書発行機関、又はOIML加盟国の国家型式承認機関で、OIML MAA型式評価報告書及びMAA適合証明書を発行します。

### 利用型参加機関

OIML加盟国の国家型式承認機関で、OIML MAA型式評価報告書もMAA適合証明書も発行しませんが、発行型参加機関が発行した証明書の利用は受け入れます。発行型参加機関は、他の発行型参加機関が発行した報告書や試験結果も受け入れるため、発行型参加機関であると同時に利用型参加機関でもあります。

### 準参加機関(アソシエート)

OIML準加盟国の国家型式承認機関で、発行型参加機関が発行したOIML MAA評価報告書の受入れを宣言します。

